

## ＜オンライン会社説明会 質疑応答＞

開催日：2021年9月2日(木) 13:00-13:45

説明者：財務部 IR 室長 森山 長栄

### 【説明会での質疑応答】

Q1：株主還元を強化する方針はありますか？

該当資料 31 ページ

当社の株主還元方針は“連結配当性向 25%以上を基本方針とし、安定的な配当の継続並びに 1 株当たりの配当の増額に努めて参ります”としている。当社は経済状況や業績の変動に左右されることなく、安心して当社株を保有頂けるよう、安定的な配当の継続と配当実額・増配に拘って株主の皆様へ還元していく所存。またこのような説明会などを通して、投資家様からのご意見を頂きながら、企業価値の向上を図りつつ、株主還元の強化を図っていく。

Q2：半導体の供給不足による事業への影響はどうか？

該当資料なし

半導体が不足している理由はコロナ禍からの反動とデジタルの早い進展が需要を増やしていると考え。半導体の生産はリードタイムが長いことや日々状況が変化しているため、不透明な部分があるが、ひっ迫している状態が解消するのはまだ時間がかかるとみている。

当社としてはサプライチェーンを絶やさないことで在庫をしっかりと確保しながら、半導体メーカーと連携し、顧客分の生産割当交渉を断続的に実施していくことで当社の業績への影響を最小限にとどめていく。

Q3：アフリカのインド製スズキ車の販売に関して教えてください。

該当資料 20 ページ

アフリカの自動車の販売については、トヨタ車をはじめマルチブランドの販売に携わっており、ただ販売するだけでなく、車の組立生産「地産地乗」に加えて、ラインナップの拡充にも努めている。

インド製スズキ車の販売については、OEM 供給を受け、トヨタブランドのスターレットとしてアフリカ市場で販売を開始している。トヨタ自動車のアフリカ事業が 2019 年 1 月に当社へ営業移管され、同年 3 月にはトヨタ自動車とスズキの協業が合意されており、これに基づいたもの。販売は好調と聞いており、引き続きアフリカの皆様にご提供を継続していきたい。

尚、アフリカは中間所得層が拡大していくこともあり、中間所得層にマッチする中型車を中心に当社の販売チャネルを通して、アフターサービスも含め、ラインナップの強化を図っていく。

Q4：トヨタグループの中の商社とのことだが、トヨタ以外のメーカーとの取引はどういったものがあるか。

該当資料なし

トヨタグループの唯一の商社であり、トヨタグループ中心の商売は多いが、当社はその他のメーカーも取り扱っている。自動車の販売に関して、日本メーカーでは日野、スバル、スズキ、ダイハツ、海外メーカーでは、フォルクスワーゲン、メルセデスなどを取り扱っている。生産については、インドでのスズキ向けの鋼板事業や、アメリカ、メキシコ、インドなど、複数の国でタイヤ組付け事業を実施しており、トヨタ以外のメーカーとの取引拡大にも注力している。

Q5：トヨタ車の在庫が枯渇している支社・支店等がございますか？

該当資料なし

トヨタ自動車の情報となり、お答えするのは難しい。当社としてはサプライチェーンを絶やさないことで貢献していきたい。